

## 鹿屋体育大学での競技会開催における新型コロナウイルス感染防止の対応方針

令和2年5月24日

鹿屋体育大学陸上競技部

いまだ終息をみない新型コロナウイルス(COVID-19)感染症ですが、陸上競技の競技会の開催自粛が解ける予定の7月以降に、以下の防止対策・対応をもって、本学学生および学外参加者の安全と安心を最大限に担保して、本学での陸上競技会を実施する予定にしております。

### 【参加者について】

毎年、多くの団体、個人のご参加をいただいております。ありがとうございます。しかしながら、現状の新型コロナウイルスの感染防止対策で講じられている対応を鑑み、当面、以下の対応を取らせていただきます。ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

- ① 令和2年度第2回鹿屋体育大学陸上競技会:5/2 自粛(延期・中止)  
⇒7月4日(土)or5日(日)に実施し、**「学内者のみの参加を可」**とします。
- ② 令和2年度 NIFS 陸上競技会:予定通り7月18日(土)実施予定とし、**「鹿児島県の大隅半島の団体・個人のみ参加可」**とします。※状況によっては、変更の可能性があります。
- ③ 令和2年度第4回鹿屋体育大学陸上競技会:予定通り8月29日(土)実施予定とし、**「鹿児島県内の団体・個人のみ参加可」**とします。※状況によっては、変更の可能性があります。

★令和2年度のその後の競技会に関しても、現時点(5/15)においては、**「鹿児島県内の団体・個人のみ参加可」**で対応していく予定です。ご理解ください。※状況によっては、変更の可能性があります。

### 重要

以下に該当する場合は、ご参加・ご来場を見合わせていただけるようよろしくお願いいたします。

- 開催日2週間前からの間に、発熱・のどの痛み・味覚異常・嗅覚異常等の新型コロナウイルス感染が疑われるとする症状が出た場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 開催日2週間前からの間に、鹿児島県外への移動や県外者との接触があった場合

なお、出場者・サポート者(学校の部員など)以外のご来場は、誠に申し訳ありませんが、 unnecessary な密や接触を避けるため、お控えいただけますようお願い申し上げます。

また、競技場面(w-up, c-down 含む)以外でのマスク着用の徹底をよろしくお願いいたします。

## 【運営方法について】

競技会開催前・中の密や接触等を極力減らすため、以下の対策を講じます。ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染防止対策内容の掲示および遵守の徹底(主催者指示に従うよう事前通知含む※従わない場合は、参加を認めないもしくはご退場いただく旨明記)
- 上記重要事項の内容チェックや感染症予防対策の履行の同意、万が一の感染発生時の個人情報の取り扱い、主催者が責任を負わない旨などを記載した同意書の提出を求める？
- 来場者の体温チェック(入場時)
- 来場直後の手洗いの徹底
- 受付の透明シールド
- 当日エントリーのオンライン化※Google Form 使用(競技会でアカウント作成)  
※ただし、当日エントリーは本学関係者および事前エントリーのあった団体に限る  
※なお、エントリー代の受領は、支払い箱等使用して、直接に手渡しにならないようにする
- 腰ゼッケンのシール化(使用後各自で廃棄)  
※エントリー代(トラック)を100円増額
- ゼッケン忘れ対応の有料化(紙ゼッケン)
- 待機場所でのソーシャルディスタンス確保の注意喚起の徹底
- 短距離直線種目における1レーンごと空け
- 1500m以上の中長距離種目におけるスタート時の選手間の間隔空け及び1組の人数制限
- 原則、大声での応援は禁止
- 競技場面(w-up, c-down 含む)以外でのマスク着用の徹底
- 投擲物等の共用する用具については、その都度の消毒もしくは手洗い
- プログラムのPDF化  
※すでに試行済み
- 更衣室の待機的使用の禁止、トイレの使用方法の検討
- 雨天の場合、延期もしくは中止  
※雨除けのために密になる危険性があるため  
※エントリー代は当日徴収？(中止時の返金対応のため)
- その他、必要な感染防止対策

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【付記】

本競技会実施方針は、5/22 現在の全国の感染状況(大幅な減少傾向)、特に鹿児島県の感染状況(感染者10名※大隅半島0名、4/22以降(4週間以上)新規の感染者が出ていない状況)を鑑みてのものとなっております。今後の感染状況によっては、方針の変更ならびに、日本陸上競技連盟・日本学生陸上競技連合からの要請、鹿児島県の要請・方針、鹿屋体育大学新型コロナウイルス感染症予防対策に則りながら、延期・中止の判断を行います。

その他、本競技会方針は、記録会レベルの競技会におけるひとつの実施方法の例と考えます。「鹿屋モデル」として、地方での競技会(記録会レベル)実施の参考になれば幸いです。